

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様 Readme

2009.04.21 オートデスク株式会社

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様は、AutoCAD Civil 3D 2010 上で動作する日本仕様の作図に特化したプログラムです。

この Readme には、AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様プログラムの固有の問題や制限事項、追加情報などを記載しています。ご利用前にこのドキュメント全体を必ずお読みください。

この Readme には、次のトピックが含まれています。

[日本仕様の利用環境に関するご注意](#)

[日本仕様のご利用方法について](#)

[日本仕様の機能に関するご注意](#)

日本仕様の利用環境に関するご注意

利用環境

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様は、AutoCAD Civil 3D 2010 の日本語版、並びに、英語(米国)版でご利用いただけます。

英語(米国)版でご利用いただく場合も、AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様のユーザーインターフェース、及び、ヘルプは日本語となります。

J ツール リボンの表示 (その1)

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様をインストール後、AutoCAD Civil 3D 2010 のリボンに[Jツール]タブが追加されない場合があります。

その場合は、CUI[ユーザインターフェースをカスタマイズ]コマンドを実行し、[Jツール]タブを追加してください。

インストールを行ったユーザ以外の Windows のログオン ユーザが、AutoCAD Civil 3D 2010 を利用する場合

インストールを行った AutoCAD Civil 3D 2010 のワークスペースをカスタマイズ後、AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様をインストールした場合

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様を再インストールした場合

1. 図面を開きます。
2. CUI[ユーザ インタフェースをカスタマイズ]コマンドを実行します。
3. [ユーザ インタフェースをカスタマイズ]ダイアログ ボックスの [部分 CUI ファイル]でJtool.cuix がロードされていない場合は、

[部分 CUI ファイル]上で右クリックして
[部分カスタマイズ ファイルをロード]を選択し、Jtool.cuix ファイルをロードします。

《Jtool.cuix ファイルの位置》

WindowsXPの場合

C:\Documents and Settings<ユーザ名>\Application Data\Autodesk\C3D

2010\Jpn\Support

WindowsVistaの場合

C:\Users<ユーザ名>\AppData\Roaming\Autodesk\C3D 2010\Jpn\Support

4. [ワークスペース]下の[Civil 3D 既定値 (現在)]を選択し、
[ユーザ インタフェースをカスタマイズ]ダイアログ ボックス右側の
[ワークスペースの内容]の[ワークスペースをカスタマイズ]ボタンをクリックします。
5. [ユーザ インタフェースをカスタマイズ]ダイアログ ボックス左側の
[すべてのCUI ファイル内のカスタマイズ]の[部分 カスタマイズファイル]の
[JTOOLS]の[リボン]コレクション内の全てのチェックボックスをオンにします。
6. [ワークスペースの内容]の[完了]ボタンをクリックします。
7. [ユーザ インタフェースをカスタマイズ]ダイアログ ボックスの
[適用]ボタンをクリックし、最後に[OK]ボタンをクリックします。

J ツール リボンの表示 (その2)

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様をアンインストール後、アンインストールを行ったユーザ以外の Windows のログオン ユーザが AutoCAD Civil 3D 2010 を利用した場合、AutoCAD Civil 3D 2010 のリボンに[Jツール]タブが残っている場合があります。

その場合は、CUI[ユーザ インタフェースのカスタマイズ]コマンドを利用してワークスペースをカスタマイズし、現在のワークスペースから[Jツール]タブを削除してください。

1. 図面を開きます。
2. CUI[ユーザ インタフェースをカスタマイズ]コマンドを実行します。
3. [ユーザ インタフェースをカスタマイズ]ダイアログ ボックスの
[部分カスタマイズファイル]を展開し、[JTOOLS]上で右クリックして
[JTOOLS.CUIX をロード解除]を選択し、Jtool.cuix ファイルをロード解除します。
4. [ユーザ インタフェースをカスタマイズ]ダイアログ ボックスの
[適用]ボタンをクリックし、最後に[OK]ボタンをクリックします。
5. ユーザ プロファイル フォルダの中に Jtool.cuix ファイルが残っているので、
Windows のエクスプローラを利用してファイルを削除します。

《Jtool.cuix ファイルの位置》

WindowsXPの場合
C:\Documents and Settings<ユーザ名>\Application Data\Autodesk\C3D
2010\jpn\Support
WindowsVistaの場合
C:\Users<ユーザ名>\AppData\Roaming\Autodesk\C3D 2010\jpn\Support

Civil 3D 2010 日本仕様ツール カタログの表示 (その1)

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様をインストール後、[Civil 3D 2010 日本仕様ツール カタログ]、[Civil 3D 推奨ツール カタログ]、及び、[Civil 3D 交差点用アセンブリセット]が[Autodesk コンテンツ ブラウザ 2010]に追加されない場合があります。

その際には、コンテンツ ブラウザ上で[カタログを追加]コマンドを実行し、日本仕様カタログファイルをコンテンツ ブラウザに追加してください。

【日本仕様カタログ ファイル名】
C3D Roads - JP Tool Catalog.atc
Civil 3D 推奨ツールカタログ.atc
Civil 3D 交差点用アセンブリセット.atc

【日本仕様カタログ ファイルの位置】
WindowsXPの場合
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Autodesk\C3D 2010\Jpn\Tool
Catalog\Road Catalog
WindowsVistaの場合
C:\ProgramData\Autodesk\C3D 2010\jpn\Tool Catalogs\Road Catalog

<注意>

日本仕様のカタログ ファイルが保存されている場所は、オペレーティング システムの保護対象となる位置に保存されています。読み込む際には、Windows の以下の設定を変更する必要があります。

1. Windows の[エクスプローラ]を起動します。
2. [ツール]メニューから[オプション]を選択します。
3. [フォルダ オプション]ダイアログ ボックスの[表示]タブをクリックします。
4. [詳細設定]リストの[保護されたオペレーティング システムファイルを表示しない(推奨)]チェック ボックスをオンにします。

Civil 3D 2010 日本仕様ツール カタログの表示 (その2)

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様をアンインストール後、リンクが外れたイメージが[Autodesk コンテンツ ブラウザ 2010]に表示されることがあります。その際には、コンテンツ ブラウザ上でリンクの外れたカタログイメージ上で右クリックし、イメー

ジを削除してください。

日本仕様のご利用方法について

AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様のご利用方法は、AutoCAD Civil 3D 日本仕様ヘルプをご覧ください。日本仕様のヘルプは、AutoCAD Civil 3D 2010 のリボンの[Jツール]タブの[ヘルプ]パネルから、[Jツール]を選択しますと表示できます。

日本仕様の機能に関するご注意

日本仕様テンプレートファイル名の変更

AutoCAD Civil 3D 2010 の日本仕様ではテンプレートファイル名を、従来バージョンにありました「__旧日本道路公団仕様.dwt」から「__Nexco仕様.dwt」に変更いたしました。

日本仕様縦断面図

縦断面図の拡幅の帯について

AutoCAD Civil 3D 2010 の日本仕様には、国土交通省、NEXCO、及び、北海道開発局用の縦断面図の拡幅の帯を作成する機能はありません。帯枠のみ作図することができます。

縦断面図の平面線形曲率図の帯について

片押し法を利用して平面線形を作成した場合、縦断面図の平面線形曲率図の帯の緩和曲線の描画が正しく行われません。

平面線形または片勾配値を編集後の帯の再作図について

日本仕様に搭載されている国土交通省、NEXCO、北海道開発局の縦断面図を作成後、平面線形または片勾配の値を変更すると、縦断面図の帯情報が更新されない場合があります。

変更後の情報に更新する場合は、REGEN[再作図]コマンドを利用して図面内の情報を更新してください。

ブレーキ測点を複数設置後の帯の作図について

線形上にブレーキ測点を複数設置し、それらのブレーキ適用後の測点範囲が重複する場合、縦断面図の帯の範囲が短くなる場合があります。

この場合、[縦断ビュープロパティ]ダイアログ ボックスの[グラフデータ]タブ上で、[ユーザ指定]チェックボックスをオンにし、[終点]テキスト ボックスにブレーキ適用後の測点が重複していない線形の終了測点よりも大きな値を入力する必要があります。

縦断面図の片勾配すり付け図について

以下の条件で縦断面図を作成したとき、片勾配すり付け図の勾配が不正となる場合があります。

- (1) 横断勾配の回転軸位置が平面線形と一致しないとき
- (2) アセンブリ オフセットにより平面線形と幅員中心とが一致しないとき

縦断面図に関するその他の問題について

日本仕様に搭載されている国土交通省、NEXCO、北海道開発局の縦断面図を作成したとき、以下の問題

が生じる場合があります。これらの問題を回避するために縦断ビューに次の帯スタイルとラベルセットを使用しています。

【帯スタイル】

国土交通省 : MLIT_PBSTYLE
NEXCO : NEXCO_PBSTYLE
北海道開発局 : HRDB_PBSTYLE

【ラベルセット】

国土交通省 : MLIT_LABELSET
NEXCO : NEXCO_LABELSET
北海道開発局 : HRDB_LABELSET

縦断図の測点帯について

縦断図の測点帯に縦断線形の開始測点、終了測点が出力されない場合があります。

縦断図の帯へのジオメトリポイントの出力について

縦断図の帯に縦断線形に関するジオメトリポイントが出力されない場合があります。

縦断図の切土高(切深)、盛土高(盛高)について

計画高と地盤高とが一致する場合、切土高、盛土高ともに0.000と表示される場合があります。

縦断図のグリッドについて

以下の条件で縦断図を作成したとき、グリッドが不正となる場合があります。

- (1) 縦断ビューの始点での地盤高が主グリッド水平の表示位置と一致するとき
 - (2) 縦断地盤線の一部に主グリッド水平の表示位置と一致する標高で水平区間があるとき
- また、縦断ビューの終点に不正な縦線が表示される場合があります。

設計基準チェック

社団法人日本道路協会「道路構造令の解説と運用」平成16年2月、及び、NEXCO「設計要領第四集 幾何構造編」平成18年4月に準拠し、設計速度の設定に応じて以下の項目をチェックします。

【線形】

最小曲線半径
最小緩和曲線長

【縦断線形】

凸型縦断曲線の最小縦断曲線半径
凹型縦断曲線の最小縦断曲線半径
最小縦断曲線長

【縦断勾配】

最大縦断勾配
国土交通省、北海道開発局：普通道路、小型道路
NEXCO : 本線、ランプ

横断勾配摺り付けテーブル

線形プロパティにある横断勾配摺り付けプロパティの横断勾配摺り付けテーブルには DC_ から始まる名前の選択肢を選択しないでください。

DC_ から始まる名前の横断勾配摺り付けテーブルは設計基準チェック専用の設定です。

【選択できない横断勾配摺り付けテーブル】

- DC_標準値
- DC_最大片勾配6.0%
- DC_最大片勾配8.0%
- DC_最大片勾配10.0%
- DC_望ましい最小半径
- DC_片勾配を付さない場合

日本仕様サブアセンブリ

小段・用排水溝付法面の作図について

小段・用排水溝付法面サブアセンブリは、設置する小段のパラメータの単位が機能によって分類されています。入力値の値が妥当でない場合、または計算領域にサーフェスのデータが見つからない場合は、コリドー モデルは正しく作成されません。

擁壁が適用された小段・用排水溝付法面のサブアセンブリについて

小段・用排水溝付法面に擁壁を設置する設定を行っている場合、用地境界線と擁壁のサイズ（高さなど）の関係が擁壁に設定を行ったパラメータ内で適用できなければ、擁壁の形状と擁壁部に接続される法面は、コリドー モデルとして作成されません。

コリドー モデルに擁壁を正しく作成できるようにするには、コリドー モデルを形成するアセンブリの擁壁サブアセンブリのパラメータを修正する必要があります。

回転軸位置を変更した標準車道サブアセンブリについて

分離車線で片勾配の回転軸を車道の中心に配置するアセンブリを作成した場合、[標準車道]サブアセンブリの中央分離帯側（道路中心線側）の端部と中央分離帯の端部が摺り付かない現象が確認されています。

日本仕様土工数量計算書

スタイルシート JPearthwork.xml を利用した XML ファイル表示について

JPearthwork.xml は、[数量算出基準]ダイアログ ボックスの[マテリアル リスト]タブの[数量タイプ]で[盛土]、[切土]として設定されたマテリアル名のみ数量表のスタイルシートとしてレイアウトします。[切土と流用土]と[土工]に関しては、レイアウト対象から除外され、数値が反映されませんのでご注意ください。

日本仕様横断図数量表

数量表に入力するデータについて

[横断図数量表作成機能]で利用する XML ファイルは、AutoCAD Civil 3D 2010 のリボンの[解析]タブの[土量とマテリアル]パネルの[土量レポート]ボタンで作成される XML ファイルを利用して数量表を作成します。

[数量算出基準]ダイアログ ボックスの[マテリアル リスト]タブの[数量タイプ]で[盛土]、[切土]とし

で設定された材料名のみ、横断面の数量表の切土または盛土の数値として利用することができます。[切土と流用土]と[土工]および[構造物]で算出された数量に関しては、横断面の数量表を作成するダイアログ ボックスに表示されるコンボ ボックスから除外され、表示されませんのでご注意ください。

サブアセンブリコードの日本語化

AutoCAD Civil 3D 2010日本仕様ではサブアセンブリコードを日本語で表示するプログラムが追加されました。

コリドーモデルに使用するコード（ポイント、リンク、シェイプ）が日本語化されたことにより、さらに使いやすくなっていますが、「AutoCAD Civil 3Dサブアセンブリヘルプ」に記載されているコードの説明文は日本語化されていません。

AutoCAD Civil 3Dサブアセンブリヘルプのコードを日本語の表示と確認する場合は、「AutoCAD Civil 3D 2010 日本仕様ヘルプ」の「コード対比表」を参考にして下さい。

例)切土または盛土の法面展開ポイント

日本語化されたコード：**法面全体**

AutoCAD Civil 3Dサブアセンブリヘルプのコード：**Daylight**